



プレスリリース

## ヴァレオと図研、

# 自動車用電子機器設計の新たな形を共に創出

- 図研ソリューションのAI技術とヴァレオの「AIエージェント」および産業ノウハウを融合
- 「Zuken Valeo InnoLab」において、先進的でオープンなAI支援型電子設計プラットフォーム構築
- 設計フロー全体にAIを適用することで、設計期間の大幅短縮と電子設計の堅牢性確保を目指す

**2026年5月28日、パリ（フランス）および横浜（日本）** – モビリティ技術のグローバルリーダーであるヴァレオと、電子設計自動化（EDA）ソフトウェアのパイオニアである図研は、重要な戦略的提携を発表しました。両社は共同プログラム「Zuken Valeo InnoLab」において、市場で最も先進的かつオープンなAI支援型電子設計プラットフォーム構築を目指します。

本提携により、図研ソリューションの先進的なAIロードマップとヴァレオの「AIエージェント」および産業分野における専門知識が融合し、ツールとエンジニアがリアルタイムで協働するエコシステムが構築されます。

「ヴァレオにとって、図研は単なるソフトウェアプロバイダーではなく、真のイノベーションパートナーです」と、**ヴァレオの研究開発担当副社長であるクリストフ・ル・リニエ（Christophe Le Ligné）**は述べています。「図研ソリューションのアーキテクチャとそのAIロードマップ、卓越したオープン性を組み合わせることで、ヴァレオ独自の人工知能ツールを図研のエンジンとハイブリッド化することが可能になります。このウィンウィンのパートナーシップこそが、設計時間を大幅に短縮しつつ100%の堅牢性を保証することにより、自動車開発の複雑化という課題に取り組む最善の方法に導きます。」

「図研のビジョンは、常にお客様の最も複雑な課題に適応するインテリジェントなツールを提供することです」と、**図研の執行役員 技術本部長 高木 良亮**は述べています。「ヴァレオのような技術リーダーとの協業は、当社の『Autonomous Brain』へのロードマップを最高レベルのパフォーマンスへと押し上げます。当社のCR-8000シリーズラインアップである『System Planner』、『Design Gateway』および『Design Force』ソリューションをヴァレオのAIエージェントに開放することで、エンジニアリングにおけるAIの真の力が、高性能なソフトウェアエンジンと専門的な産業ノウハウの融合によって実現することを実証していきます。」

この共同イノベーションは設計フローを軸に構成され、両社の独自の強みを融合させていきます：

- 1. 機能的ジェネレーティブ・デザイン：**図研のSystem Plannerを活用し、ヴァレオは自社のジェネレーティブAIを投入して、ヴァレオの基準に基づいた最適な多基準アーキテクチャを瞬時に生成・評価します。
- 2. デジタル・コンティニュイティ：**図研のオープンプラットフォームは、ヴァレオのエコシステムとの統合と、Automotive SPICE 4.0 (ASPICE4.0) HWE（ハードウェアエンジニアリングプロセスグループ）規格に準拠した完全なトレーサビリティのためのデジタル・コンティニュイティを保証します。ヴァレオのAIがデータを処理し、それをプラットフォーム内の自動化されたアクションとして再注入します。
- 3. 詳細設計支援：**ヴァレオは「AIエージェント」（仮想コパイロット）を統合し、ソリューションの探索、ハードウェアルールの検証、制約条件の実装においてエンジニアをリアルタイムで支援します。一方、図研は、ヴァレオの標準化されたデータベースを活用して回路図入力作業を加速させるネイティブAI機能を開発しています。

4. **自動配置・配線**：物理設計の統合には、市場で最も強力なAI配置配線（AI-PR）アルゴリズムを提供する図研のDesign Forceエンジンが活用されています。「初回から正確な」実行を保証するため、ヴァレオは図研のSDKを使用してツール内で直接動作させ、自動車業界特有の厳しい制約条件に基づいてこのAIを「トレーニング」しています。

## ヴァレオについて

ヴァレオは、世界中の自動車およびテクノロジーパートナー向けに革新的なソリューションとシステムを創造する、世界をリードするテクノロジー企業です。ヴァレオは、パワー・ディビジョン、ブレイン・ディビジョン、ライト・ディビジョンと、アフターマーケットとニューモビリティ向けの拡張サービス・パートナーであるヴァレオサービスで構成されています。ヴァレオは、モビリティをより安全に、より持続可能に、そしてすべての人に手が届くものにすることにコミットしています。グループは、より電動化が進み、より安全で、ソフトウェア・デファインドとなる「未来のクルマ」を形作る上で重要な役割を果たしています。ヴァレオは、グローバルな生産拠点と、電動化、先進運転支援システム、ライティング、ソフトウェアにおける技術的リーダーシップを活かして、1台あたりの付加価値のシェアを高めています。ヴァレオはパリ証券取引所に上場しています。

数字で見るヴァレオ：2025年の売上高209億ユーロ | 2026年2月26日時点で、約100,000名の従業員を擁し、29カ国で149カ所の生産拠点、59カ所の研究開発センター、19カ所の物流プラットフォームを構えています。

### 報道関係者お問合せ先：

株式会社ヴァレオジャパン 広報部 石井 Tel: 090-6655-6429 WEBサイト：<https://www.valeo.co.jp/>

## 図研について

図研は、高度な電気・電子設計ソリューションを提供するグローバルソフトウェア企業です。1976年の創業以来、EDA業界において技術革新と収益性の高い成長で確固たる評価を築いてきました。同社の主力製品群である電子設計向け「CR-8000」および電装設計向け「E3.series」は、堅牢な設計データ管理・構成管理機能を備えた、包括的な2D/3Dシステムレベルのツールセットを提供しています。図研は、モデルベースシステムズエンジニアリング（MBSE）分野への戦略的参入により、デジタルトランスフォーメーションを推進し、MBSEツールやサービスを既存の設計プラットフォームと統合することで、複雑化する製品開発の課題に対応しています。

### 報道関係者お問合せ先：

株式会社図研 コーポレートマーケティング室 齊藤 Tel: 045-942-1511 WEBサイト：<https://www.zuken.co.jp/>